広報しょうばら
Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine
12
2012/DECEMBER
No.93

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

光のファンタジー

庄原の冬の風物詩「備北丘陵公園ウインターイルミネーション」が今年も開催中。今年のテーマは、「そらの旅」～宙、空へ～。冬の夜空に映える 60 万球の明かりが、まるで星のようで幻想的です。開催期間は1月6日（日）まで。（関連記事 29 ページ）

2 特集 みんな「にっこり」笑顔になろう
～認知症を考える～
12 今後の斎場のあり方を考える
13 シリーズ「国保」
14 シリーズ「庄原市まちづくり基本条例」
シリーズ「私にもできる獣害対策」
15 広島牛が全国4位
安心安全な毎日のために
16 古事記編纂 1300 年の取り組み
17 市政トピックス　20 カメラレポート
24 健康広場　25 お知らせ

No.93 平成24年12月5日発行　編集・発行　庄原市情報政策課　〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号　☎0824-73-1159　http://www.city.shobara.hiroshima.jp　印刷　シンセイアート㈱　再生紙使用

乗りんさい 芸備線

Vol.5

備後落合駅⇔道後山駅

芸備線で最も標高の高い道後山駅と備後落合駅の間には、およそ150メートルの標高差があり、車窓を彩る草木の種類も変わってきます。

この区間で最大の見どころは3つの鉄橋「第一小鳥原橋梁」「宮ノ脇橋梁」「第二小鳥原橋梁」です。特に「第一小鳥原橋梁」は、西日本有数の高さを持つ鉄橋で、下から見上げたときの存在感、車内から見る眺望は、ともに芸備線のハイライトと呼ぶにふさわしいスポットです。

トンネルから「第二小鳥原橋梁」を望む（平成24年9月15日撮影）

友人が3人、岡山から芸備線で西城にやってきました。

備後落合駅で降り立った友人は3人ともポカンとした顔で辺りを見渡し「すごいね。昭和にタイムスリップしたみたい」。

「がけスレスレの場所走ってた！」「いきなりゆっくり走りだして止まるかと思った！」。私は都会から来た友人の反応にニヤニヤしながら「魅力的だったでしょ♪」。

私が初めて芸備線に乗ったのは、西城に引っ越して半年経ったころ。「芸備線はほんっとうにすごい！特別じゃけぇ」と、乗る前に何度も聞いていましたが、乗ってみた印象は「ほんっとうにすごい！ワクワクする！」。

都会では電車を「交通手段」として見ていた私は、交通手段以上の特別なものに感じたのです。以来、友人が「西城に行きたい」と言うと、「芸備線でおいで」と言います。それは芸備線のワクワクを感じてほしいな、と思うからなのです。

高岡舞由美（西城町）

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集します。写真と説明文（100文字程度）乗車体験記（200文字程度）を郵送またはメールでお送りください。

応募先
〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール　koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！

おいしいものは 庄原市地産地消推進店 地元にある!!

休暇村　帝釈峡

登録 第14号店

所 東城町三坂 962-1
☎ 08477-2-3110
営 朝食 7:15 ～ 9:00、昼食 11:30 ～ 13:30、夕食 17:30 ～ 20:00
休 年中無休
HP http：//www.qkamura.or.jp/taishaku/

取り扱う市内産食材
こんにゃく・レタス・ヤーコン・大根・山菜・米・赤酢・中濃ソース（地元の野菜で作られています）

★営業主任の本田 佑一さんに聞きました★

●なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
私どもには、全国各地から多くのお客さまが宿泊に来られます。
その方々に庄原市の観光だけでなく、食材の魅力も知っていただきたいと思い登録しました。

●お店の推進店としてのこだわりは？
地元産を使用した料理を提供するときは、地元の食材を使用していることを表示などでアピールしてお客さまに楽しんでいただけるようにしています。

●皆さんへひと言
ご夕食はバイキングで提供していますが、ご宿泊の方のみでなく、多くの地元の方々に日帰りで食事をお楽しみいただいております。
ぜひ皆さまも、約５０種類の「広島ぶちうま バイキング」を楽しみにお越しください。

好評の「広島ぶちうま」バイキング

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？　市は随時、地産地消推進店を募集しています。
詳しくは、保健医療課健康推進係（☎0824-73-1255）まで。